

● 広報

おくび



2017

10

NO. 756





～いつまでも元気でね～

第53回小国町高齢者顕彰式が、9月15日、町民総合体育館で開催され、喜寿、米寿を迎えたかた70人（対象者211人）が出席しました。式では、すみれ保育園児によるアトラクションが行われたほか、園児たちが色染めた手ぬぐいを出席者全員に「おじいちゃんおばあちゃん。いつまでも元気でね。」と言葉を添えて手渡しました。

地域の防災力を高める ～自主防災組織の取り組み～



白沼スポーツ防災フェスティバル 初期消火訓練

全国で多発する 自然災害

今年7月5日に福岡県と大分県を中心に大きな被害をもたらした九州北部豪雨では、36人のかたが犠牲となり、河川のはんらんや土砂災害などが発生し、床下浸水以上の被害が2500棟以上、被害総額は1400億にも上るとされています。この豪雨は、福岡県朝倉市付近で、3時間で

400ミリ、12時間で900ミリの雨量がレーダー観測から解析されるなど、気象庁の観測所がある福岡県朝倉市と大分県日田市では時間雨量などが観測史上1位を更新し、九州北部地方に甚大な被害をもたらしました。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災をはじめ、熊本県や鳥取県、長野県など日本各地で大きな地震が連続して発生している状況に

今年は羽越水害から50年の節目の年を迎えました。本町では、この水害以降、国や県による砂防・治水事業や河川整備などによって、安全性は飛躍的に向上しています。一方、全国各地を見ると近年は、集中豪雨や河川のはんらん、土砂災害などが多発しているほか、大きな地震が発生するなど、大規模な自然災害に見舞われています。自然災害を事前に予測することは難しいですが、日ごろから災害発生に備え防災体制を構築しておくことで、被害を最小限に抑えることが可能になります。今月は、地域住民が協力・連携し「自分たちの地域を自分たちで守る」ための取り組みを紹介します。

あります。

気象庁の気候変動監視レポート2016によれば、気候変動などの要因により、1976年から2016年までの間の、アメダス地点での1時間降水量50ミリ以上、80ミリ以上の短時間強雨の年間発生回数は増加傾向にあります。一方で、日降水量200ミリ以上は年間日数に大きな変化はないものの、日降水量400ミリ以上の年間日数は増加傾向にあります。

このようなことから、近年全国各地で頻繁に発生している自然災害の特徴として、短時間にごく狭い地域に集中して雨が降ることなどがあげられます。

自助・共助・公助

大規模災害が発生した時、被害の拡大を防ぐためには、国や県、町などの行政、消防

機関などによる救助・援助などの「公助」だけでは限界があり、災害発生直後に実効性のある対策を講じることが難しい場合もあります。

このため、自分の身は自分で守る「自助」や近隣の地域住民が互いに協力し、助け合いながら自分の身とともに地域を守る「共助」が大変重要になります。高齢者の独り暮らし世帯が本町でも増加している中、日ごろから顔を合わせている方々による助け合いが被害を最小限に抑えることにつながります。

自然災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的として、自主防災組織の設置が進められており、本町では今年7月末時点で39団体が組織されています。

これは、既存の自治会や町内会などを単位として結成する防災組織で、災害発生時に被害を軽減するため地域行事などとあわせて防災訓練や避

難訓練、消火訓練などの活動を行います。

本町においては、町中心部の組織率が低いことから、それを高めるとともに、すでに組織されていても高齢化や役員交代などにより形骸化している団体も見受けられることから、体制の再構築などのサポートも課題となっています。

白沼地区での新たな取り組み

9月23日に沼沢地区自主防災会（櫻井重恭会長）と白子沢地区自主防災組織（市川雄二代表）の2つの自主防災組織と地区体育協会などが連携し、新たな取り組みとして「白沼スポーツ防災フェスティバル」が開催されました。

これまで、防災訓練と地区運動会を毎年別々に開催していましたが、それぞれの参加者が年々減少してきたため、



白沼スポーツ防災フェスティバル
簡易担架づくり・けが人搬送訓練

運動会に合わせ種目を防災訓練の実践的な内容にアレンジして、いつ来るかわからない災害に備え、防災意識の向上と楽しく訓練を実践することで「習うより慣れる」ことを目的として開催されたものです。

フェスティバルでは、時間を知らせずに、防災ラジオ・スピーカーから避難を呼びかけて住民が一斉に旧白沼小中学校に避難する「避難訓練」や、災害発生を大きな声で周

地域の防災力を高める～自主防災組織の取り組み～ 特集



白沼スポーツ防災フェスティバル
事前打ち合わせの様子

りの人たちに伝えるため、いかに大きな声を出すことができるかを競う「火事（災害）ぶれ訓練」、実際に土のうを作り積み上げる「水防訓練」、水消火器やバケツなどを使って迅速かつ効率的に消火することを競う「初期消火訓練」、簡易担架の作り方と人を運ぶ感覚をつかむ「けが人搬送訓練」のほか、アルミ缶を用いた炊飯やアルファ米を実際に作る「電気を使わない炊飯訓練（炊き出し訓練）」などが



沼沢地区自主防災会
櫻井 重恭 会長

行われました。

沼沢地区自主防災会の櫻井重恭会長は、「沼沢地区では平成21年3月に自主防災会を組織して以降、毎年防災訓練を実施してきました。また、消防団員もいますが、地域の中で防災の知識を持った中核的な人を育成するために2年前から毎年2人ずつ防災士（※）の資格取得を進めており、現在沼沢地区に4人の防災士がいます。今回の防災フェスティバルの種目も防災士が中心となって考案しました。今年から地区運動会と防災訓練をひとつにした理由として、防災訓練というと高齢者の参加が少なかったため、



白沼スポーツ防災フェスティバル
総合実践人命救助訓練

運動会を兼ねることでレクリエーション的要素を加えて参加を促したのです。会場に集まった人たちが実際に訓練に参加することで災害対応の実践ができますし、見ている人も自分たちもこれならできると気付いてもらえたと思います。また、こうした経験を積むことで日ごろからの防災意識の向上につながればと考えています。」と話してくださいました。

一方で、白子沢地区自主防

災組織の市川雄二代表は、「今年の防災フェスティバルでは、種目に参加ができない人でも、実際に見ることでよって、ポイントをつかむことができ大変いい機会だと感じました。白子沢地区は、人口減少によつて2年前から地区の盆踊りもできなくなっていることなどから、防災訓練も、毎年、実施していませんでした。今回のように、白子沢単独ではできないことを隣の沼沢地区と協力しながら、今後活動を展開していきたいですね。」と話してくださいました。

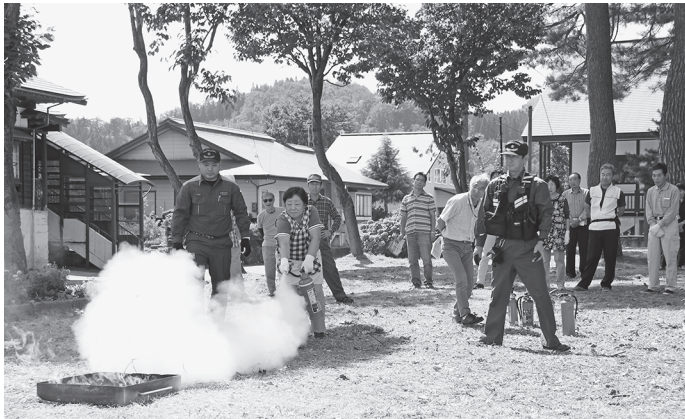
各地区の 継続した取り組み

東原地区自主防災訓練が、9月24日に東原公民館周辺で行われました。

これは、2年前から東原自主防災会（金沢誠会長）が主催しているもので、災害への

※防災士…「自助」、「共助」、「協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、特定非営利活動法人日本防災士機構が認証した人（日本防災士機構HPより）

特集 地域の防災力を高める～自主防災組織の取り組み～



東原地区自主防災訓練 初期消火訓練

備えとして防災意識の向上を図るとともに、住民相互のコミュニケーションを深める場として開催されているものです。今年は、西置賜行政組合消防署小国分署の正田分署長の講話や、小国町消防団（伊藤孝太郎団長）の女性消防団員による新聞紙を用いた「防災スリッパ」づくりが行われたほか、住民による初期消火訓練、地元消防団員による放水訓練などが行われました。



東原自主防災会
金沢 誠 会長

東原自主防災会の金沢誠会長は、「本会は、平成21年8月に組織され、結成当初から自治会長が自主防災会の会長を兼ねる形になっています。一方、東原地区には消防団幹部OBなどが多いこともあり、役員についてはそうしたかたに協力をいただきながら会の運営を行っています。本会では年に2回程度の役員会や備品点検・補充などの活動と防災訓練を実施しています。災害発生時には住民同士が協力して行う体制が必要ですが、日ごろから顔を合わせ、お互いのことを知っていることがスムーズな対応につながると考えています。当地区も

少子高齢化が進み、現在50代後半から60代の数が多くなっているため、こうした住民同士のつながりなどを若い世代にいかに関継いでいくかが課題となっていますが、幸いにも積極的でやる気のある若い消防団員も多くいるため大変心強いです。」と話してくださいました。

この他にも、町内各地区の自主防災組織で自主訓練が実施されています。平成19年4月に結成した宮の台自主防災会（丹忠勝会長）では、結成以来10年間、春と秋に行う自治会行事に合わせて、心肺蘇生法講習や初期消火訓練、運動教室などを実施しながら、地域住民の防災意識の向上を図っています。また、町中心部のあけぼの地区でも平成27年度の町総合防災訓練をきっかけに自主防災組織を立ち上げ、平成28年から継続して自主防災訓練を実施しています。

安心安全な 地域社会を

町では、地域の自主防災力を高めるため、自主防災組織が防災資機材等の整備を行う場合と自主訓練を実施する場合に支援を行っています。

また、県では、地域において防災の中核となる人材を育成するため、防災士養成研修講座を開催しながら、防災士資格の取得促進を図っています。

災害発生時には、町民一人ひとりの初動対応とともに、自主防災組織などが主体的に防災活動に取り組むことで被害を最小限に抑えることが可能となり、地域防災力の向上につながります。

全国各地で自然災害が発生する中、日頃から家庭、地域で災害に備えることで、より一層災害に強いまちを築きあげていくことにつながります。

全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴ったら…その時…。

8月29日と9月15日の2回、政府が全国瞬時警報システム（Jアラート）を使い、ミサイルに注意が必要と判断された道県に発射情報と通過情報を伝達しました。本町においては、同システムと連携している防災ラジオと屋外スピーカーから放送されました。ミサイルが発射され、通過・飛来恐れがある場合、私たちはどのような行動をとるべきなのでしょう。国の国民保護ポータルサイトから紹介します。

全国瞬時警報

システムとは

Jアラートとは、弾道ミサイル情報や津波警報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を国（内閣官房や気象庁から消防庁を経由）から送信し、市町村の防災行政無線などを自動起動（町で調整することはありません。）することによって、国から住民まで緊急情

報を瞬時に伝達するシステムで、ミサイルについては、日本の領土・領海に落下する可能性がある場合、または領海を通過する可能性がある場合に使用されます。

今回の2回の放送は、8月29日午前5時58分頃と9月15日午前6時57分頃に北朝鮮が北海道・東北地方に向けて発射したミサイルによるもので、いずれも北海道渡島半島及び襟裳岬の上空を太平洋に

向けて通過し、襟裳岬東側の太平洋に落下したものと推定されています。

Jアラートで送られた情報については、本町では各戸に配布した防災ラジオと町内13カ所に設置した屋外スピーカーから、緊急放送としてそれぞれの最大出力の音量で放送されます。ミサイル発射時に実際に放送された内容は次のとおりです。

（9月15日・1回目）

「（サイレン音）ミサイル発射、ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中または地下に避難してください。こちらは、防災小国です。」

（9月15日・2回目）

「（サイレン音）ミサイル通過、ミサイル通過。先ほど、

この地域の上空をミサイルが通過した模様です。不審なものを見つけた場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。こちらは、防災小国です。」

ミサイル発射

情報が流れたら

内閣官房では、国民保護ポータルサイトを運営しながらミサイル発射時の対応等について注意喚起しています。Q ミサイルが発射されたとの情報伝達があった場合は、どうすればよいのか。

A 屋外にいる場合は、ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるため、屋内（できれば頑丈な建物）や地下施設に避難してください。

全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴ったら…その時…。

メッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

できる限り頑丈な建物や
地下に避難する。
地下：地下街や地下駅舎などの地下施設

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下！

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する
●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

して、次の指示があるまで待機してください。

Q 「ミサイルが●●地方に落下した可能性がある」といった情報があった場合には、どうすればよいか。

A 続報が伝達されますので、引き続き屋内に避難してください。弾頭の種類に応じて被害の様相が大きく異なります。そのため、ラジオ、テレビ、インターネットなどを通じて情報収集に努めてください。もし近くにミサイルが着弾した場合は、弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲などが異なりますが、屋外にいる場合には、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

Q 「ミサイルがこの地域を通過した」との情報があった場合には、どうすればよいか。

A 政府からの情報について、テレビやラジオで確認してください。もし、不審なものを見つけた場合には、決して近寄らず、すぐに警察、消防などに連絡してください。

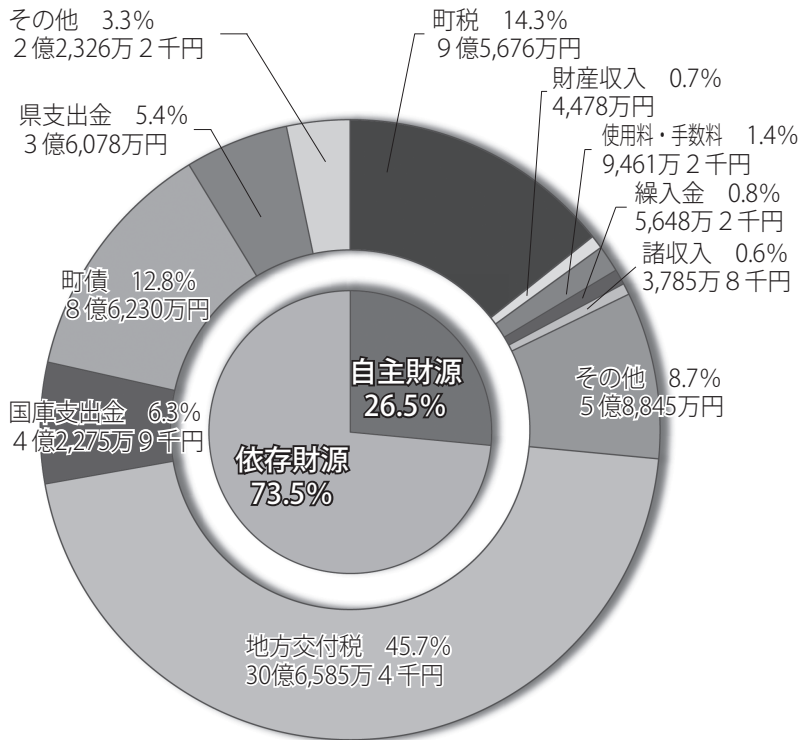
内閣官房が運営する国民保護ポータルサイトでは、北朝鮮のミサイル発射に備えて発射された場合の行動や疑問点などの様々な情報を掲載しています。

全国瞬時警報システム
情報伝達訓練について

国では、毎月1回（第4水曜日午後2時）Jアラートを使った情報伝達訓練を実施することになりました。本町では、防災ラジオ及び屋外スピーカーから放送が流れます。
初回訓練は10月25日（水）午後2時（予定）となっています。

一般会計 歳入

67億1,389万7千円
(前年度比-1.2%)



平成28年度

決算報告

平成28年度一般会計と企業会計、特別会計の決算が9月15日、町議会9月定例会で認定されました。一般会計歳入総額は67億1,389万7千円、同会計歳出総額は63億3,866万9千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は3億7,522万8千円の黒字となりました。各会計の決算状況をお知らせいたします。

入ってきたお金

町民税では、税率改正による法人税割の引き下げや中核企業における資本金の変更等により法人住民税が減少しましたが、前年給与所得等の回復により個人住民税が増加し、対前年比4.1%の増となりました。

固定資産税では、設備投資の拡大などから償却資産は増加したものの、家屋の除去等により対前年比1.4%の減となり、町税全体では、対前年比0.9%の増となりました。

国庫支出金は、年金所得者等支援臨時福祉給付金、社会資本整備総合交付金などが増加しましたが、社会保障・税番号システム整備費、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金などの減少により、対前年比1.8%減の4億2,275万9千円となりました。

町債は、防災情報伝達システム整備により、対前年比55.4%増の8億6,230万円となりました。

歳入総額では、対前年比1.2%減の67億1,389万7千円となりました。

特別会計・企業会計 の決算状況

■簡易水道事業特別会計

収入 5,697万円

支出 1,911万4千円

■国民健康保険事業特別会計

収入 10億790万2千円

支出 8億8,347万5千円

■部落有財産特別会計

収入 1億1,650万6千円

支出 331万4千円

■下水道事業特別会計

収入 3億8,292万9千円

支出 3億7,682万5千円

■訪問看護特別会計

収入 7,658万2千円

支出 7,515万5千円

■介護保険特別会計

収入 9億9,507万6千円

支出 9億6,924万5千円

■後期高齢者医療特別会計

収入 1億629万1千円

支出 9,889万6千円

■病院事業会計

事業収益 9億6,658万8千円

事業費用 11億8,583万9千円

■老人保健施設事業会計

事業収益 3億2,555万6千円

事業費用 3億6,313万円

■水道事業会計

事業収益 2億8,906万9千円

事業費用 4億7,355万6千円

■工業用水道事業会計

事業収益 1億12万7千円

事業費用 1億4,640万8千円

使ったお金

義務的経費については、人件費は減少しましたが、扶助費及び公債費が増加したため、対前年度比2.3%の増となりました。人件費は、職員共済費及び時間外手当の減などにより、対前年比1.3%、1,094万5千円の減額となりました。扶助費は、福祉医療費の拡大、年金所得者等支援臨時福祉給付金の増などにより、対前年度比2.7%、1,568万8千円の増額となりました。また、公債費では、平成23年度過疎対策事業債（小国小学校改築事業など）及び平成24年度一般単独事業債（勤労者住宅整備事業など）の元金償還が開始したことなどから、対前年度比6.6%、4,151万3千円の増額となりました。

投資的経費では、対前年度比69%、3億6,896万3千円の増額となりました。普通建設事業では、町道松岡黒沢峠線道路整備事業、町道橋補修事業などを継続して実施したほか、農業基盤整備促進事業、きのこ産業づくり推進事業、防災行政通信システム整備事業などを実施しました。

さらに、各基金については利子積み立てを図るとともに、財政調整基金、減債基金、除雪対策基金に原資積み立てを行いました。

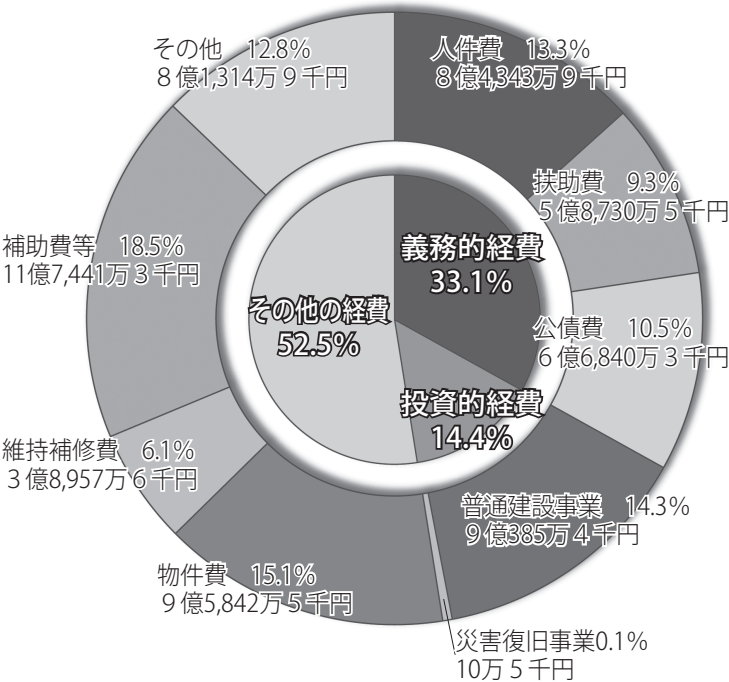
歳出総額では、対前年度比1.3%増の63億3,866万9千円となりました。

健全化判断比率

平成28年度一般会計決算に基づく財政の健全化判断基準は、右表のとおりです。比率が早期健全化基準、財政再生基準を超えると、それぞれの財政健全化計画、財政再生計画の策定が義務づけられています。表中のいずれの指標においても、財政悪化の判断基準に達していません。

一般会計 歳出

63億3,866万9千円
(前年度比+1.3%)



■健全化判断比率の状況

指 標	比率（単位%）	
実質赤字比率 一般会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	小 国 町	—
	早期健全化基準	15.00
	財政再生基準	20.00
連結実質赤字比率 町の全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	小 国 町	—
	早期健全化基準	20.00
	財政再生基準	30.00
実質公債費比率 町の借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	小 国 町	8.3
	早期健全化基準	25.0
	財政再生基準	35.0
将来負担比率 町の現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	小 国 町	85.7
	早期健全化基準	350.0
	財政再生基準	—

■資金不足比率の状況

公営企業の経営健全化を示す指標で、資金の不足額を営業収益で除した値となります。本町では、病院事業、水道事業、工業用水道事業、老人保健施設事業、簡易水道事業、下水道事業の6会計が対象となります。平成28年度決算の結果、資金の不足額が発生する会計はありませんでした。

羽越水害から50年

災害の爪痕をたどって

その⑥

◀ 赤坂橋に流れ着いた家屋の撤去を見守る住民



今、私たちが、羽越水害の当時の様子を知らうと思うと、残された写真や体験談を聞くしかありません。役場では応急災害対策本部を立ち上げ、豪雨の状況を記録するため、職員が手分けをしてカメラ撮影を行いました。

また、町民のかたの中にも羽越水害の記録を残そうと、カメラ撮影を行った人たちがいます。

今月は、故五十嵐文治さん（緑町）が自らの目線で水害現場を撮影し、小国町に寄贈していただいた写真の一部を紹介します。

五十嵐さんのご遺族は「祖父は、写真が好きで、撮影会や風景を撮りによく出かけていました。家には白黒写真を自ら現像するための写真室もあり、写真や絵画がたくさんありました。年老いてからは、自分で撮った写真を見ながら模写していて、その作品を今でも大事に家に飾っていますよ。」と話してくださいました。



▲被災した越後屋旅館



▲濁流によって流出した玉川第3鉄橋



▲小国高校に自衛隊がヘリで救援物資を運搬



▲国鉄（現JR）小国駅構内付近の流木



▲濁流によって流出したはしもとやの跡から大橋を望む



羽越水害を学ぶ ～小国小学校出前講座～

国土交通省北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所が、9月11日、小国小学校で羽越水害に関する出前講座を開催しました。

講座では、同事務所の宮島調査課長が講師を務め、写真や地図などを子どもたちに見せながら、羽越水害当時の被害状況について説明したほか、過去に発生した土砂災害の映像を流しました。小国小学校の子どもたちは、写真や映像を見ながら、50年前の羽越水害と自然災害の恐ろしさを学びました。



伝統の舞いを披露 ～舟渡獅子踊り～



舟渡獅子踊りが、9月10日、舟渡地区で行われました。舟渡獅子踊りは、舟渡公民館青年部（今浩治部長）が中心に地域が一丸となって披露するもので、6月17日に山形市で開催された「第6回日本一さくらんぼ祭り」にも出演しました。

会場では、笛衆の音色と歌声に合わせ鮮やかな衣装の踊子と迫力ある獅子の舞いに大きな拍手と声援が送られていました。

中学生が堂々と自分の思いを語る ～第56回少年の主張小国地区大会～

第56回少年の主張小国地区大会（小国町防犯協会主催）が、9月1日、小国中学校体育館で開催され、小国中学校と叶水中学校の生徒4人が出場しました。

大会では、中学生が部活動や日常生活、社会問題などを通して気づいたことや感じたことなど、実体験を交えながら堂々と発表しました。

審査の結果、小国中学校3年の高橋絢香さん（小渡）が最優秀賞、小国中学校3年の渋谷麻珠さん（緑町）が優秀賞、小国中学校2年の齋藤星奈さん（石滝）と叶水中学校2年の野崎耕太郎さん（叶水）が優良賞を受賞しました。



小国地区大会

白熱する一番に大きな声援 ～クアーズテック(株)小国事業所 稲荷神社奉納相撲大会～

クアーズテック(株)小国事業所の稲荷神社奉納相撲大会が、9月8日、同社相撲場で行われました。この日は、今年から新たに設定された入社2年目以下の社員等が出場する新人戦のほか、個人戦や団体戦が行われ、この日までの練習の成果を発揮して力強い熱戦を繰り広げていました。今年は、クアーズテック(株)社員のほか、グローバルウェーブハズジャパン(株)小国事業所からも選手が出場し、大会を盛り上げていました。



「深まる秋、薄紅色のアイス登場」

地域おこし協力隊 ^{みやざき} 宮崎 ^{みほ} 美穂

あれだけ満ちていた夏の緑も、日を追う毎に紅葉しています。穏やかな季節になるのを望むばかりですね。さて今夏、新商品「薄紅色の君、愛す。(うすべにいろのきびアイス)」が登場しました。焙煎したたかきびを使ったミルクジェラートで、香ばしさとサッパリした甘さ、ソフトクリームより高級感のある味わいが魅力です。さっそく銀座にあるアンテナショップでテスト販売を行なってきました。気づいた事は、見ず知らずの人に売るのは難しいということと、小国の人にどうやって味方になってもらうか・好きになってもらうかという事でした。現在はまちの駅アスモにて販売しています。皆さんに愛され、「あの人に贈りたいな」と思ってもらえる商品を目指します！



「東部地区大運動会」

地域おこし協力隊 ^{ねもと} 根本 ^{しゅんすけ} 俊輔

小国町に来て約3カ月が経ちました。夏が過ぎて涼しくなってきましたが、スーパーなどで買い物中に声をかけて頂いたりすると心が温まります。

9月3日に叶水小中学校で運動会がありました。小中学生だけではなく、地区のかたと基督教独立学園のかたも参加し、すごく盛り上がりました。個人的に一番好きだったのが応援パフォーマンス！応援の迫力とともにおもしろさもあって、見てる人たちに笑顔が溢れていました。ちなみに僕は、100メートル走に出場したのですが…。最下位でした。来年は頑張ります！



野生きのこの出荷自粛について

本町で採取された野生きのこ「チチタケ」から、国の基準値（100ベクレル/kg）を超える放射性セシウムが検出されたため、本町で採取された「野生きのこ」について、出荷自粛の措置を取らせていただきました。町では、国や県などの関係機関との協議を引き続き行いながら、いち早く自粛要請が解除されるよう取り組んでまいります。

■経緯

栃木県那須塩原市の産直施設で販売された小国町内から採取したとされる野生きのこ「チチタケ」から、食品衛生法に基づく放射性物質基準値（100ベクレル/kg）を超える値が検出されたとの情報が8月22日に栃木県から山形県にありました。

このため、山形県では8月27日に小国町内から「チチタケ」の検体を採取し、放射性物質検査を行ったところ、2検体のうち1検体から基準値を超えた値が検出されたことから、8月28日に山形県より小国町に対し「『野生きのこ』の出荷自粛等について」の要請がありました。

これにより、今シーズンから町内で採取された野生きのこについては、加工品を含めて、出荷、販売ができませんので、取り扱いに注意してください。なお、町内に「チチタケ」は一般的に流通していません。

※野生きのことは、栽培や育成管理によらず、自然界に自生しているきのこのことです。

■今後について

出荷自粛となった野生きのこについて、山形県では制限の解除に向けてそれぞれの品目の検査を既に開始しています。2年間継続して一定量を検査し、基準値の2分の1（50ベクレル/kg）以下である場合は、3年目に数量を増やして検査をし、全て基準値以下となれば、県から厚生労働大臣に出荷制限解除の申請を行い、それが認められることで出荷自粛が解除になる予定です。

本町での野生きのこ出荷自粛解除のための検査対象品目は、ナメコ、マイタケ、マツタケ、ムキタケ、ブナハリタケ（カヌカ）、クリタケ、トビタケ、ナラタケ（オリメキ）、ホウキタケ、エゾハリタケ（ヌキウチ）、コウタケ（シシタケ）の11品目を行っています。

■問合せ先 産業振興課森林振興担当（☎62-2408）へ

平成29年度地価調査結果について

平成29年度地価調査結果が公表されました。小国町に関するものは、右表のとおりです。

地価調査とは、各地域で基準となる土地価格を公表し、土地を売買する際の目安等としていただくものです。

■問合せ先

山形県県土整備部県土利用政策課
（☎023-630-2660）

所 在	当年価格	前年価格	変動率
兵庫館一丁目 6番11	9,100 (円/㎡)	9,240 (円/㎡)	-1.5%
緑町三丁目9 番1	16,400 (円/㎡)	16,700 (円/㎡)	-1.8%
兵庫館三丁目 5番20	7,300 (円/㎡)	7,380 (円/㎡)	-1.1%

*** 今年度の検診はお済ですか？ ***

今年度、予定されている検診をまだ受診していないかたは、ぜひ下記の日程で受診してください。なお、11月20日の総合検診最終日は対象地区の日程で受診できなかったかたに対しての予備日となっています。

【総合検診】

新たに申込みを希望するかたは、健康福祉課までご連絡ください。

○日 程 10月18日(火)、10月19日(水)、11月20日(月) (予備日)

○場 所 健康管理センター

【レディース健診】

希望する検診場所ごとに受診日の予約をしてください。

《南陽検診センター》

○日 程 10月31日(火)、11月6日(月)、11月15日(水)

○申込先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

《町立病院》

○乳がん検診 2月末までの毎週月曜日

○子宮頸がん検診 2月末までの毎週金曜日

○申込先 町立病院 (☎61-1111) へ

■問合先 健康福祉課 (☎61-1000) へ



小児インフルエンザ 予防接種費用助成

町では、インフルエンザの発病や重症化及びまん延の予防を目的に、小児インフルエンザの予防接種にかかる費用の一部を助成します。

■対象者 小国町に住所を有し、接種日において生後6カ月～中学校3年生に相当する年齢のかた

■接種(助成)期間

10月1日(日)～平成30年1月31日(水)

■助成額 1回につき2,000円

■助成回数 6カ月～13歳未満…2回
13歳以上…1回

■その他 対象者には個別に通知しますので、詳細は通知をご覧ください。

■問合先 健康福祉課地域保健担当
(☎61-1000) へ

在宅介護・医療連携講演会 のお知らせ

「在宅医療と介護」について考えるきっかけとして、この機会にぜひご参加ください。

■日 時 10月14日(土)14:00～16:00

■場 所 おぐに開発総合センター 集会室

■内 容

演題 自宅で大往生

～「ええ人生やった」と言うために～

講師 福井県名田庄診療所所長

中村 伸一氏

■申込み

10月12日(木)までに健康福祉課にお申し込みください。

■申込・問合先

健康福祉課・地域包括支援センター
(☎61-1001) へ

入札結果情報 (平成29年8月21日～平成29年9月21日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H29.8.22	平成29年度町民総合体育館屋根煙突部改修工事	岩井沢	H29.10.20	3,499,000	安部工業(株)	3,400,000
H29.8.28	平成29年度小国町病後児保育施設改修工事	あけぼの	H29.11.30	13,521,000	(株)高橋工務店	13,300,000
H29.9.13	平成29年度町道舟渡上平線舗装補修工事	舟渡	H29.10.31	12,647,000	(株)船山工務店	12,300,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

募集

第24回大里峠越え交流会

参加者募集

- 日時 10月15日(日)
- 内容 関川側から小国側へ大里峠越え、交流会
- 参加費 無料
- 持ち物 昼食、飲み物、山頂に奉納する折り鶴
- 申込締切 10月12日(木)
- 申込・問合先 地域整備課建設管理担当(☎62・2431)へ

町営住宅入居者募集

- ①町営住宅あけぼの団地 2DK 1戸(1階)
- 家賃 所得と家族構成による
- その他 所得制限あり
- ②あけぼの高齢者団地 1LDK 1戸(1階)
- 家賃 所得と家族構成による
- 対象
- ▽世帯所得が21万4千円以下で住宅に困っているかた
- ▽60歳以上のかたで自立した生活をおくることができ、同

居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること

①・②共通

- ◎敷金 家賃の3カ月分
- ◎募集期限 10月10日(火)
- ◎入居時期 10月下旬以降
- ◎問合先 地域整備課建設管理室(☎62・2431)へ

お知らせ

野生鳥獣の捕獲には許可が必要です

野生鳥獣による農作物や生活環境への被害が発生しますが、むやみに野生鳥獣を捕獲することは原則できません。一定の目的や要件を満たす場合、許可を受けて捕獲することができ、鳥獣の種類や方法などにより手続きが異なりますので詳しくは置賜総合支庁環境課にご相談ください。

■罰則 1年以下の懲役または100万円以下の罰金

■対象行為 狩猟鳥獣以外の鳥獣の捕獲等・狩猟期間外における狩猟鳥獣の捕獲等

■問合先 役場産業振興課

(☎62・2408)・置賜総合支庁環境課(☎0238・26・6035)へ

最低賃金が改正されました

■山形県最低賃金

時間額739円(22円アップ)
 ■効力発生日 10月6日(金)
 ■問合先 山形労働局賃金室(☎023・624・8224)へ

ご案内

県立小国高等学校を

支援する会研修会

- 日時 10月23日(月)18時～
- 場所 おぐに開発総合センター集会室
- 講師 山形県教育庁 須貝英彦 高校改革推進室長
- 演題 「県高校再編整備基本計画を踏まえた小国高校の今後の在り方について」
- その他 参加希望のかたは10月20日(金)まで申込みください。
- 申込・問合先 教育委員会教育振興課(☎62・2141)へ

認知症さくらんぼカフェ 出張交流会

- 日時 10月25日(水) 10時30分～12時
- 場所 健康管理センター
- 対象者 認知症のかたを介護している家族
- 内容 日ごろの介護についての情報交換、個別相談等
- 申込・問合先 健康福祉課(☎61・1000)へ

置賜こども芸術祭2017 舞台芸能部門開催

置賜各地で伝統芸能などの文化活動に取り組んでいる子どもたちが一堂に会し、日ごろの練習成果を披露します。

- 日時 10月28日(土)13時開場
- 場所 長井市民文化会館
- 入場料 無料
- その他 特定非営利活動法人おぐにスポーツクラブYuiキッズダンスも出演します。
- 問合先 置賜文化フォーラム(置賜総合支庁連携支援室内)(☎0238・26・6020)へ

10月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 10月27日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成29年6月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 10月27日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成28年10月生まれ

■3歳児健診

- ・期 日 10月13日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成26年2月、3月、4月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■10月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
パパと遊ぼう	10月21日(土)	9:30~11:30・子育て支援センター	不要
子育て講座	10月3日(火)	「救急法について」・子育て支援センター	不要
子育て講話	10月17日(火)	「0歳から始める足のケア」・子育て支援センター	必要

■対象者 なかよし広場・子育て講座・講話 就学前のお子さんとお家のかた
パパと遊ぼう 就学前のお子さんとお父さん

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

10月1日(日)	川西 松岸歯科医院	0238-46-3563
10月8日(日)	高畠 村上歯科医院	0238-52-4855
10月9日(月)	白鷹 わたなべ歯科医院	0238-85-1873
10月15日(日)	米沢 春日歯科医院	0238-22-3030
10月22日(日)	高畠 顎口腔クリニック根岸山	0238-40-8248
10月29日(日)	米沢 明星歯科医院	0238-26-5255

求 人 情 報

右の表は9月22日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2017.10

10月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●10月26日(木) 水道料

●10月31日(火)

町県民税、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
小国町役場	(臨) 一般事務	1人	8:30~17:00
(株)旭林業	林業技術士・大型運転手	3人	7:30~17:30 他
大河内産業(有)	砂利プラント運転士	1人	8:00~17:00
	ダンプ・重機運転士	1人	
日本重化学工業(株)小国事業所	電子材料の製造スタッフ	5人	8:15~17:15 他
ALSOK 山形管財(株)	(請) 車両運行管理業務	2人	5:50~19:45 の間の7時間以上
日清医療食品(株) 仙台支店	(請) 調理員	1人	5:30~14:30 他
	(請) 調理師	1人	
	(請) 洗浄	1人	
荒川興業(株)	製造加工	3人	8:30~17:05
山和建設(株)	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】	3人	8:00~17:00
	二級土木施工管理技士・二級建築施工管理技士【本社】	3人	
	ガソリンスタンド業務【急募】	1人	
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~17:00
小国町介護老人保健施設 温身の郷	介護員【年度更新】	1人	8:30~17:00
長谷川工業(株)	マシニングオペレータ	2人	8:30~17:00 他
大和建設運輸(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
ひさご電材(株)小国工場	電線のアッセンブリー及び検査	5人	8:30~17:30
美森ファーム(株)	販売員	1人	8:00~17:00
味処 藤よし	調理補助及び接客係【急募】	2人	9:00~14:00 他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

マタギの里小玉川トレッキングツアー

- 日 時 10月21日(土) 9:00～16:00
- 場 所 樽口峠ブナの森トレッキングコース、温身平森林セラピーロード
- 集 合 9:00 小玉川公民館（林道樽口峠線登り口手前）
- 定 員 30人
- 対 象 どなたでも
- 参加費 4,000円（案内料、昼食代、保険料など）
- 内 容 トレッキング、いも煮会、温泉入浴
- 持ち物 軽登山をするのに必要な服装・靴、雨具など
- 申込締切 10月17日(火)まで
- 申込方法 電話またはFAXで申込みください（電話は火・木の9～17時、金の9～12時の間）。お申し込み時に、氏名、性別、生年月日、住所、連絡先電話番号をお知らせください。なお、詳細は町ホームページをご覧ください。
- 申込・問合せ先 小玉川地区自整協事務局（☎・FAX64-2008）へ

白い森芸術祭 作品募集

町では、9月30日から12月3日の期間を「白い森芸術祭」と題して、様々な芸術文化イベントを企画しています。皆さんが創作している書道、生け花、絵画等の作品を展示してみませんか。

- 展示期間 11月3日(金・祝)～5日(日)
- 展示場所 町民総合体育館1階
- 対 象 小学生以上が創作した作品
- 作 品 書道や絵画、写真、手芸品、民芸品、郷土資料などを募集します。
- 申 込 10月19日(木)までに、教育委員会教育振興課にある申込書にご記入ください。
- 搬 入 11月2日(木)11:00～13:00
- 搬 出 11月5日(日)17:00～20:00
- そ の 他 上記時間帯に各自で搬入・搬出してください。上記時間帯にできない場合にはご相談ください。
- 出展費用 無料
- 問 合 先 教育委員会教育振興課（☎62-2141）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

	休館日	毎週月曜日・祝日
◇悪左府の女	伊 東	潤
◇アンカー	今 野	敏
◇標的	真 山	仁
◇ぼくは君たちを憎まないことにした	アントワヌ・レリス	
◇クマ問題を考える	田 口	洋 美

相 談

▽消費者相談

- 日 時 10月28日(土)
10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- その他 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

▽行政相談

10月16日(月)から22日(日)は行政相談週間です。行政についてお困りになっていることなどがございましたら、無料で相談に応じます。

- 日 時 10月21日(土)〔特設相談日〕
10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 行政相談員 齋藤恒助氏
- 問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

＊ ＊無料調停相談会＊ ＊

- 日 時 10月14日(土)
10:00～13:00
- 場 所 小国会場「アスモ」
長井会場「小桜館」
- 相談内容 夫婦・家庭間問題、遺産相続、土地の境界問題・ご近所とのトラブルなど
- 問 合 先 長井簡易裁判所
(☎0238-88-2073) へ

山形県行政書士会長井支部

からのお知らせ

行政書士は、皆さまからの依頼により、車庫証明や建設業をはじめ各種業法の許認可や届出などの書類を代理で作成、提出します。

【無料相談会】

- 毎月第4火曜10:00～12:00
- 場所：長井市役所市民相談センター
- 問 合 先 山形県行政書士会長井支部（青木新一行政書士事務所内☎88-4793）へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
- 行政管理室・情報危機管理室 ☎62-2112
- 企画財政室 ☎62-2264
- 白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 税政管理室 ☎62-2403
- 商工観光室 ☎62-2416
- 農林振興室 ☎62-2408
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432
- 議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(8 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

あけぼの 高 橋 璃依咲 (啓 慎 子)

田 沢 頭 鈴 木 琴 子 (俊 寛 樹 莉)

兵 庫 館 山 口 惺 也 (祥 孝 智 美)

おくやみ申し上げます。

舟 渡 川 上 一 助 (90)

今 市 小 池 啓 一 (69)

舟 渡 越 高 ノ ブ (86)

岩 井 沢 佐 藤 ト エ (100)

岩 井 沢 羽 田 俊 明 (59)

栄 町 小 田 次 雄 (86)

北 菅 昭 三 (89)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成29年8月31日現在)

人口 男・・・3,882 人 (一 1)
女・・・3,957 人 (一 8)
計・・・7,839 人 (一 9)
世帯数 3,093 世帯 (一 4)

編集後記

先日、初めて飯豊登山をしました。1泊2日の予定でしたが、悪天候のため日帰りで梶川峰まで行ってきました。途中、世界百名瀑にも選ばれている「梅花皮の滝」を遠目からですが見る事ができました。慣れない下りの帰り道は、運動不足もたたりフラフラでしたが何とか下山する事ができました。あの道を人を背負って下りてくる飯豊朝日山岳遭難対策委員会遭難救助隊のかたがたのすごさを身をもって実感することができました。(斎藤)

10月の あいイベント MIX CUP フットサル大会



- 日 時 10月15日(日) 8:30～
- 対象者 中学生以上 (チーム編成必須)
6人以上でその内女性3人以上
- 参加費 1人500円 (保険料込)
- 申込締切 10月10日(火)

白鷹山トレッキング

- 日 時 10月15日(日) 8:00～
- 集 合 町民総合体育館 8:00出発
- 場 所 白鷹山 山辺町獄原登山口から頂上へ
- 対象者 どなたでも
- 参加費 会員3,000円、非会員4,000円
- 持ち物 飲み物、風呂道具など
- その他 詳細は事務局に問合わせください。
- 申込締切 10月12日(木)

■申込・問合先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

～森林のきのこウォッチング～

- 日 時 10月21日(土) 9:30～14:30頃
- 集 合 健康の森横根駐車場 9:30
- 定 員 15名
- 対 象 一般、親子 (小学生以上)
- 参加費 1,000円 (保険代等込)
- 持ち物 長袖長ズボン、登山靴等、雨具、お弁当など
- 申込締切 10月13日(金)
- 申込・問合先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
(☎62-5955) へ

第15回おぐに鍋まつり

個性豊かな創作鍋が出品されます。ぜひ食べ比べてお楽しみください。

- 日 時 11月5日(日) 11:30～鍋販売開始
- 場 所 アスモ西口駐車場
- 前売券 10月1日から、まちの駅アスモで1枚500円で販売 (先着100枚)
- その他 「おぐに再発見! 自然の恵み大感謝祭」同時開催
- 問合先 おぐに鍋まつり実行委員会
(小国町商工会内 ☎62-4146) へ

シリーズ

地域のブランド化とは

その⑥

金目そば

そばは地域ごとに作り方や味わいが異なり、長野県で代表的な「信州そば」など長い年月を経て、その地名が付くものもあります。本町には「金目そば」があります。金目そばは、昔から小麦粉などを使わないそば粉100パーセントのそばとして知られています。金目のあるかたは、「金目は昔から川が低い場所にあ



って、水をあげるのが大変な場所だった。そして山の中だから米を作っていないとたくさん採れるわけでないし、その上家族も多かったから米の代わりにそばを食べたものだ。昔は各家に石臼があつて自分たちで作っていたのよ。」と話してくれました。

昭和後期には、さまざまな食べ物が流通し、金目でもそばを打って食べるという習慣が薄らいでいく中、昭和63年に当時の長井農業改良普及所が、金目で受け継がれてきたそばを後世に残すため「金目そば伝承のしおり」を作成しています。これ以降、金目でそば打ちの研修・研究が行われ、金目そばが復活し、石楠花まつりなどのイベント会場で提供するようになったので

す。平成6年には金目そばの館が完成し、そば打ち体験や、小学校、中学校での体験教室なども行っていました。金目の別のかたは、「私は初めそばを打てなかったけど人に負けたくないと思って、上手な人のやり方を見て、さまざまな場所で勉強して覚えただ。そばのつけ汁の味にもこだわって、さまざま研究したんだ。」と話してくれました。

現在も小国産のそば粉を用い自家製粉（その場でそば粉にする）しており、そばの香りが楽しめます。店主の木村公弘さんは、「金目そばの味は変えられないし、品質を保持しないといけない。金目そばは、冷たくおいしい金目の井戸水を使い、湯ごね（湯殺し）をする昔からの打ち方。」と、その伝統技術を受け継いでいます。



金目そばは、商品として提供してきたものではなく、米の収量を補うものとして伝承されてきたものでありました。したがって住民生活の変化はその需要を減らし、消滅していく宿命にもあったと思いますが、伝統食品としての性質がこれを止めた事例でありました。金目そばは、金目という集落の地理的条件とそ

の中で受け継がれてきた技術が伝える小国ブランドと言えるのではないでしょう